

麦の穂

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

92

令和4年
7月10日発行

医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院
Araki Neurosurgical Hospital

後輩に伝える言葉

私達の歴史は昭和61年7月1日に荒木脳神経外科病院という個人病院として出発して、平成12年4月医療法人光臨会として医療法人化し、本日7月1日で36周年を迎えました。「歴史は砂の上に字を書くようなものではなく、事実を消せないのが歴史だ」と申します。36年間、この歴史を積み重ねてきて、こんにちまで歩んで参りました。

私はこの間、一貫して組織の中核に座っておりますが、私も近い将来必ずや次の世代にバトンタッチをする時期がやって参ります。私は最近日本武道館から「充実した人生を送るために後輩に伝えたいこと」というタイトルで寄稿を依頼されました（「月刊武道」令和4年2月号掲載）。そのテーマを同志社の創立者新島襄の言葉「倜傥不羈」の人生といたしました。これは何時しか私の「座右の銘」としていた言葉です。若い人達に言いたいのは、少々波風の立つことはあっても良い、大義のもとに一貫して軸のブレない人生を送ってほしいという思いからであります。もし若い人達が、過去に社会で活躍した方々に出会う機会があった時に「後輩に伝えたいことは何か」を問えば、必ず一つや二つは持っておられ、その教えはこれから的人生に有益な指針となることと思います。ただ、黙っていては与えられません。「求めよ、さらば与えられん」です。歴代の広島市長の中にかつてノーベル平和賞にノミネートされたと言われる平岡敬さんがいらっしゃいます。90歳を過ぎた今でもお元気でゴルフも1ラウンド優に回られる方です。ある時、私は平岡さんに後輩に伝える言葉は何ですかと伺ったことがあります。すぐさま「疾風勁草」という言葉が返ってきました。これは政治家として平岡さんが困難や試練に直面した時に「座右の銘」として自らを鼓舞されていたものと想像に難くありません。辿ってこられた人生の一端をのぞかせてもらえます。

日本は超高齢化社会にむかい、みんな75歳まで働くなくてはならない時代が到来すると言われています。日本が世界のGDPに占める割合は1994年の18%をピークに次第に下がり、2020年は6%までになっています。このように日本経済が衰退する中で、診療報酬のパイは増えようがなく、この度の4月の診療報酬改定も同じパイの中の移し替えでしかありません。医療の現場はその都度益々厳しい診療上の制約を強いられてきてています。一気に日本経済が好転することは考えにくく、若い世代に託さざるを得ませんし、我々60代、70代も夢を持ち人生に挑戦し続けなければならない時代だと思います。

最後に、パナソニックの創業者松下幸之助さんの「座右の銘」を紹介します。アメリカの詩人サミュエル・ウルマンの詩をヒントに昭和40年70歳の時につくられたそうです。「青春とは心の若さである。希望と信念にあふれ勇気に満ちて、日に新たな活動を続ける限り青春は永遠にその人のものである」。この言葉は、私自身にも言い聞かせる言葉でもあります。

もくじ

- ① 後輩に伝える言葉
- ② 脳出血とは～症状と治療～
- ③ 入職式及び辞令交付式を開催しました
- ④ 入職6年目フォローアップ研修を行いました
- コンビニやスーパーのお菓子や飲料で手軽に熱中症予防！
- ⑤ 連携医療機関のご紹介 — (医療法人社団 稲垣内科) —

令和4年7月1日
医療法人 光臨会
理事長 荒木 攻



「月刊武道」令和4年2月号



脳出血とは ~症状と治療~

脳出血とは

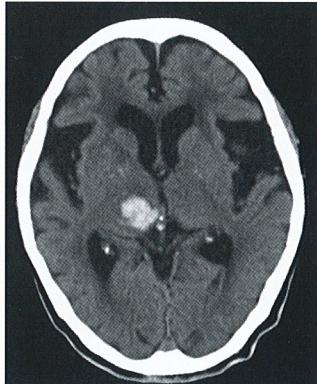
脳出血とは脳卒中の一つです。脳卒中はくも膜下出血、脳出血、脳梗塞に分けられ、脳梗塞が最も多く、ついで脳出血、くも膜下出血となります。介護が必要になる原因はこれら脳血管疾患が最も多く、特に脳出血は重大な後遺症を残しやすい脳卒中です。脳出血をきたす原因はいくつかありますが、今回はその中の約70%を占める高血圧性脳内出血について説明します。

高血圧性脳内出血

出血部位は①被殻出血（外側型）35-45%（図1）②視床出血（内側型）25-33%（図2）、③脳葉出血（皮質下出血）10-20%、④小脳出血5-10%（図3）⑤脳幹出血（橋出血）4-9%（図4）が主です。穿通枝や皮質枝動脈とよばれる脳の深部や表面近くの細い血管が固くなり（動脈硬化性変化）、そこに高い血圧がかかることで動脈が破れ出血するといわれています。日中の活動時に起こることが特徴で、症状は発症部位や出血の大きさで決定されます。急激な経過をたどり頭痛や嘔吐、片麻痺、意識障害やけいれんなどが出現します。脳内出血は発症直後より頭部CTで白く描出されます。



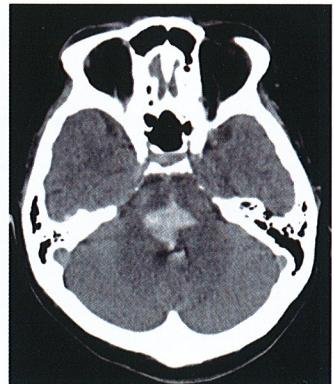
①被殻出血（外側型）(図1)



②視床出血（内側型）(図2)



④小脳出血 (図3)



⑤脳幹出血（橋出血）(図4)

治療方法

まず、血圧を下げて止血剤の投与を行います。軽症では血液が自然に吸収されるのを待ち、中等症～重症例は手術を行います。

手術には①開頭血腫除去術：頭蓋骨をはずし、顕微鏡を使用しながら血液を取る手術で、大きな出血が対象となり、救命を目指すために行います。②定位血腫除去術：頭蓋骨に小さな穴を開け頭部CTで出血の位置を計測し、細い管を用いて血液を吸い出す手術で、血腫によって圧迫されている周辺の脳組織の圧を軽減することを目的としている手術です。最近では内視鏡を用いて血液を取る内視鏡下血腫除去術も普及しつつあります。脳出血では全身状態が落ち着けば、早期からリハビリテーションを開始することが機能予後の改善につながります。

診療部門長 渋川 正顕

入職式及び辞令交付式を開催しました

新入職員研修会

令和4年度は、新入職員17名を迎えて、4月1日（金）午前10時00分より広島ダイヤモンドホテルで入職式及び辞令交付式を開催しました。

部署別採用人数は、看護部3名（看護師3名）、リハビリテーション部は14名（理学療法士6名、作業療法士6名、言語聴覚士2名）の計17名。

入職式が終了後、同日付け採用致しました医師1名（脳神経外科医師）を加えた計18名で入職式会場である広島ダイヤモンドホテル「バラの間」にて、4月1日（金）4月4日（月）2日間の日程で研修会を開催いたしました。

入職式の後、研修初日は午前中に荒木攻理事長より、「患者中心の医療という理想を求めて」というタイトルで講義頂きました。午後から荒木勇人院長の講義を皮切りにし、1日目は7名の講師による講義・部署紹介が行なわれました。

研修2日目、4月4日（月）は午前9時15分より松下薬剤部長の講義から始まり、午後3時00分、今田関連事業部長まで計6名の講師による講義が行われました。

医師、部署長による講義終了後は、事務・総務部長より事務部の紹介と就業規則の説明や入職に係る手続き等が行われ、2日間にわたる新入職員を対象としたオリエンテーション、研修会は無事終了いたしました。

コロナ禍の前年まで開催していました、新入職員歓迎会は残念ながら今年度も開催を中止することと致しました。

また、4月1日付けで管理本部企画部へ1名の採用としており、今年度は計19名を荒木脳神経外科病院の一員として迎え入れることとなりました。必要な知識と経験を積み、1日も早く地域医療に貢献できるよう頑張りますので、これからどうぞ宜しくお願ひ致します。

事務・総務部長 山根 圭太郎

医 師



根石 拡行
脳神経外科部長

管理本部



福島 拓哉
企画部長

看 護 師



大石 知佳

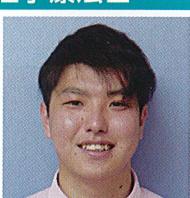


福島 菜摘



柳 智波

理学療法士



安田 竜紀



原田 高帆



古賀 圭人

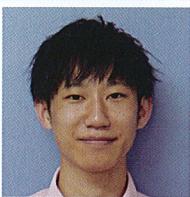


大滝 伶典



達見 啓介

作業療法士



土井 知哉



井上 涼太



上田 愛佳



菅原 凌輝



椿 明日香

言語聴覚士



田中 里沙



立川 千裕



井野 健寧



寺山 明那



入職6年目フォローアップ研修を行いました

医療法人光臨会の研修施設である開東館（庄原市西城町）において、資格取得後満5年を迎えた職員を対象としたフォローアップ研修を行いました。

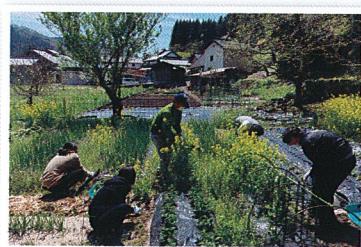
この研修は資格取得満5年を迎えた機会に、各自の今後の目標を明確にし、当法人に対する理解を深めることを目的として開催されました。対象者は看護部門、リハビリテーション部門、地域連携推進部門から8名で、最初に荒木攻理事長からの講話、続いて刀鍛冶の久保善博氏をお招きしての講義、その後グループに分かれて屋外で作業を行いました。

この度参加した職員は当院では中堅の立場として、役職に登用される職員もいます。今回の研修を通じ、光臨会の目指す方向性や法人内における自身の立ち位置や役割を自覚できたと思います。

また、ここ数年はコロナ禍により、職員同士で交流する機会がほとんど持てなかっただため、作業活動も含め、皆と集まり力を合わせて形にし、交流の場を持つことの重要性も改めて感じることができました。

光臨会では今後も定期的にフォローアップ研修を行っていく予定です。

教育委員会 木村 隼人



コンビニやスーパーのお菓子や飲料で手軽に熱中症予防!

最近では熱中症対策のお菓子や飲料の種類が増えてきています。「どんな時に使ったらいい?」「どれを選んだらいい?」と思っている人もいるのでは。使い方や選び方をご紹介します。

・塩分タブレット

汗をたくさんかく場面では、水分と一緒に塩分の補給が必要。塩分タブレットは持ち歩きやすく、どこでも噛んでもすぐに塩分補給ができるのでおすすめです。



様々な栄養素がプラスされているものもありますが、基本的な熱中症対策は水分と塩分だけでも十分です。決め手に欠ける場合は、汗で失われやすいカリウムや、疲労回復効果があるクエン酸が含まれているものを選ぶとよいでしょう。

・スポーツドリンク

一般的なスポーツドリンクは、汗をかく場面の水分補給に勧められています。暑い時でもゴクゴク飲めるので、夏場の水分補給に選択している人もいるでしょう。



但し、夏だからといって毎日がぶ飲みはNG。飲みやすく甘く作られているため糖質の摂りすぎに繋がります。糖質が気になる人は、糖質の量が少ないカロリーオフタイプを選択しましょう。

・経口補水液

経口補水液は、「熱中症が疑われるとき(脱水状態)」に飲むことが勧められています。「病者用食品」に位置付けられているため、ドラッグストアや調剤薬局などでしか手に入らないものもあります。体への吸収を速めるために点滴とほぼ同じ成分で作られています。一般的なスポーツドリンクは糖質が多く、塩分が少なく体に吸収されにくいため素早い対処が必要な場面には向きません。ブドウ糖ではなく、人工甘味料を使用した経口補水液に類似している飲料もありますので注意してください。



熱中症予防は、栄養と水分をしっかりととり、体調を整えておくことが大切です。さらに睡眠をきちんととり、体を十分休めてあげることも必要です。しっかりと対策をとり今年の夏も元気に乗り切りましょう。

管理栄養士 池永 知子



連携医療機関のご紹介

医療法人社団 稲垣内科

住 所：〒733-0033

広島県広島市西区観音本町1-22-26

T E L：082-292-3506

F A X：082-292-3507

診療科目：内科、糖尿病・内分泌内科、呼吸器内科

院 長：稻垣 早織

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
9:00～12:30	●	●	●	●	●	●	—
14:00～16:00	訪問診療	訪問診療	—	予約診療	訪問診療	—	—
16:00～18:00	●	●	—	●	●	—	—

【休診日】水曜午後、土曜午後、日曜、祝日

※水曜午前は呼吸器内科医師のみの診療となります



稻垣 早織院長



荒木脳神経外科病院の皆様には、いつもお世話になっております。緊急でご紹介させていただくことが多く、いつも迅速にご対応いただき大変感謝しております。

当院は1960年に祖父である稻垣文郎がこの地で稻垣内科医院を開院し、1990年に父である稻垣晶紀が継承し、2000年に医療法人社団 稲垣内科と名称変更しました。2010年の父の他界後、ご縁により様々な先生方にご尽力いただき、稻垣内科を継続することができました。2022年4月より私が院長を継承し新体制で診療を行っております。

かかりつけ医として気軽にご相談いただける医院を目指し、お一人ずつ丁寧な診療を心がけ、また必要であれば地域の医療機関と迅速に連携をとり、最善の医療を提供できるよう努めております。

私は糖尿病、高血圧症、脂質異常症など生活習慣病、また甲状腺など内分泌疾患が専門です。祖父の代からの地域医療を重視した診療に取り組み、風邪などの一般内科、訪問診療も引き継いで継続しております。若い方からお年寄りまで地域の方々の健康管理をしっかりできるよう、少しずつ診療体制を整えております。昨年は新たな診察室を増設し、体調不良がある方とない方で入口から別にして診療できるよう医院の一部をリフォームしました。これからも将来の地域医療を見据えた院内改革を進めて参ります。

4月から継承したばかりでご迷惑をお掛けすることもあるうかと存じますが、地域の皆様に信頼いただける医療を提供できるよう日々研鑽を重ね、少しでもお役に立てるよう努力する所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



